

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 活動成果報告書**

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟
代表団体名	公益社団法人 松山法人会
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,470,038円 (1,450,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用 ・Bankの登録企業数 5社追加登録 総登録数 45社→50社へ ・大学からは、BANK企業の先輩社員、ゲストスピーカーの紹介依頼があったが、この企業のというものであったことから、個別の対応となった。</p> <p>2. 働きやすい職場づくり企業と大学との座談会・勉強会の開催 (1) 働き方・休み方改革や社内風土づくり、女性の働きやすい職場づくり等を積極的に取り組んできた「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」登録企業を知ってもらう機会を創出した。 ○第1回 勉強会：次世代の採用の在り方と現状の県内採用事情 講師：合同会社EIS 西村 友祐 氏 参加大学5校（人数5名）、参加事象所8事業所（人数11名） ○第2回 勉強会：次世代の採用の在り方と現状の県内採用事情 講師：合同会社EIS 西村 友祐 氏 参加大学4校（人数5名）、参加事象所9事業所（人数17名） →他社の求人活動の状況や動向、参考となる取組を知ることができたというご意見や大学の感覚や自社の取組とのズレを感じることができたというご意見を多くいただいた。</p> <p>○学校法人河原学園及び愛媛新聞の協力を得て、専門学校生（河原アート・デザイン専門学校）への情報発信をおこなった。地元企業に目を向けていただくため、松山の働きやすさ、過ごしやすさをPRするとともに、BANK企業を紹介、松山で働きたいという気持ちを形にもらうために、「愛媛で働きたい！！と思えるキャッチフレーズを入れたデザイン」を制作していただいた。</p>
課題・提案等	<p>・既に県外や都市部への求人活動を行っている企業は、求人情報の発信、選考、インターンシップをデジタル化、オンライン化しているが、新卒採用や県内求人を重要視してきた企業は、これまで「会える」ことを前提としてきたことから、デジタル化、オンライン化ができていない状況、方向転換したくても企業側にその知識や技術が足りておらず支援すべき課題は多い。</p> <p>・オファー型の求人活動もふえていることから、企業側も対応していかなければいけない。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>・デジタルツールを利用した求人情報の発信については、学生の感覚を掴み、取入れ、企業の実態に合った効果的な手法の選択が必要になることから、多角度な専門家や学生の生の声を伝える支援が必要になると感じる。</p>

## 【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 活動成果報告書**

**1. 収入の部**

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
松山市補助金	1,450,000 円	1,450,000 円	0 円	
法人会負担	23,664 円	20,038 円	3,626 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	1,473,664 円	1,470,038 円	3,626 円	

**2. 支出の部**

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
人件費	846,175 円	734,400 円	111,775 円	業務按分率0.3
人件費	89,520 円	137,691 円	-48,171 円	法定福利費、通勤手当 業務按分率0.3
報償費	40,000 円	120,000 円	-80,000 円	講師、専門家謝金
需用費	24,000 円	5,555 円	18,445 円	消耗品、印刷代
旅費	0 円	727 円	-727 円	
使用料及び賃借料	316,000 円	87,426 円	228,574 円	パソコンリース代、事務所費、光熱費 業務按分率0.3
役務費	24,000 円	250,600 円	-226,600 円	広告宣伝費
消費税	133,969 円	133,639 円	330 円	
合 計	1,473,664 円	1,470,038 円	3,626 円	

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 活動成果報告書**

活動名	まつやま働き方改革推進会議
部会名	変える勇氣&変わる勇氣プロジェクト
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
構成メンバー	サイボウズ(株)松山オフィス・ジョブカフェ愛work
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,475,749円 (1,300,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. ~学生(Z世代)とともに考える、かいしゃ通信簿!~          ①運営学生メンバーを募る、投げかけをする          ①キックオフMTG(運営チーム顔合わせ) 10/11(火) 大学生12名、社会人6名          ②インタビューの仕方や企業の見方を学ぶ11/1(火) 大学生12名、社会人5名:愛ワーク寺尾さん講師          ③現役社会人とのインタビューイベント11/26(土) 大学生12名、社会人サポーター4名、ゲスト社会人10名          ④協力企業4社にインタビュー11/30宇和島自動車運送、12/1富士通コミュニケーションサービス、12/7サイボウズ、イープレス          (学生が4つのグループに分かれてインタビュー)          ⑤通信簿完成 12月末          ⑥お披露目交流会(Ehime Style) 2/12(日) 大学生12名、社会人30名          KPI1: エントリー企業 3~5社→ 4社 富士通コミュニケーションサービス(株)、宇和島自動車運送(株)、(株)イープレス、サイボウズ(株)          KPI2: 参画学生20名程度(男女バランスよく)→大学生15名(愛媛大学リーダーズスクールメンバー-男性1名、女性13名、松山大学女性1名)+社会人サポーター6名(男性)+愛媛大学教員2名          KPI3: 成果物として「かいしゃ通信簿様式」「イケてる上司チェックリスト(仮題)」→「かいしゃ通信簿」「取扱説明書」作成</p> <p>2. 「まつやまワークワク部」「ワクワクサポーター」《コミュニティ形成》          ワクワクサポーター現在12名(男性6名女性6名)+事務局4名          7月:高田名奈さん 7月14日(木)19時~20時30分 はさまれ世代「心が折れそうときの内省の仕方」          9月:児玉寛将さん 9月21日(水)19時~20時30分 はさまれ世代「しくじりエンジニア ~人生ってやり直せるねん~」          12月:加納飛鳥さんもしくは越智爾子さん → 中止</p> <p>3. まつやま働き方改革認定企業          2019年8月~2020年1月までチャレンジ企業に取り組んだ岡田印刷(株)さんを、5社目のまつやま働き方改革認定企業として表彰。(12月14日(水)岡田印刷さん本社にて。)</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>1. かいしゃ通信簿について          ・8月スタート予定で、学生を募っていたが、思うように集まらず、また集まった数名も温度差があり、数を集めてもかなり個別対応が必要になるため、学生への関わりが長けた方にも参画していただき(合同会社cheerfor)、社会人サポーターも6名参画。          ・学生を巻き込んだものは、学生へのサポートにかなり労力と工夫がいるため、チームで行うのがよい。今回は愛媛大学リーダーズスクールの村田先生、仲道先生にもご協力をいただき、活動の一環として取り組んでいただいた。</p> <p>2. ハサマレ世代のコミュニティ(ワクワクサポーター)について          ・参加している方へのヒアリングで、学びと実践と癒しが必要だと実感。中堅になって必要なマネジメントスキルや、仕事と家庭に忙しい世代のため、心の保ち方や、プライベートの分かち合いなど          ・ワクワクサポーターの12名のうち、4名は「まつやまSDGs推進協議会」のコミュニティでも一緒におり「(働き方改革と)同じことをやっている感じがする」という指摘。点在するコミュニティを、参加者が効率的効果的に参画できるように整理する必要性を感じた。(縦割りの弊害)</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>・「まつやまワークワク部」を横連携して新たなコミュニティに刷新し、中堅社員(ハサマレ世代)の学びと実践の場所に。(リスクリテラシー)</p>

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 収支決算見込書**

**1. 収入の部**

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,300,000 円	1,300,000 円	0 円	
ワークワク部費余り	140,000 円	151,987 円	-11,987 円	
持ち出し	34,000 円	23,762 円	10,238 円	
合 計	1,474,000 円	1,475,749 円	-1,749 円	

**2. 支出の部**

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
旅費交通費	30,000 円	6,440 円	23,560 円	スタッフ移動費
報償費	150,000 円	26,000 円	124,000 円	11/1勉強会講師謝礼 11,000 記事ライティング代 15,000
役務費	224,000 円	183,920 円	40,080 円	ホームページ修正 55,000 kintone利用 10,890 フォームブリッジ利用 112,860 振込手数料 5,170
消耗品費	20,000 円	35,912 円	-15,912 円	用紙、文具
印刷製本費	30,000 円	12,895 円	17,105 円	名刺、コピー代
企画管理費	960,000 円	1,142,900 円	-182,900 円	コーディネート人件費及び委託費
通信費	30,000 円	38,522 円	-8,522 円	携帯電話、ホームページサーバー
使用料及び賃借料	30,000 円	29,160 円	840 円	パソコンリース料
合 計	1,474,000 円	1,475,749 円	-1,749 円	

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 活動成果報告書**

活動名	転居女性等の市内のワークシェアリング・マッチング事業
部会名	人育ち応援部会
部会長・副部会長名	桑波田 健
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、株式会社エルパティオ
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,300,000円
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>&lt;転居女性の市内のワークシェアリング・マッチング事業&gt;  (1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのニーズヒアリング、コンサルティング  マッチング2件  ・家具製造業  システムキッチンの自社開発に関する相談。委託先である(株)エルパティオが有する主婦層のコミュニティを活用し、51名を対象としたアンケートを実施。各家庭のキッチンの現状や実際に日常的に使用中で感じている長所・短所についての意見を集約し、報告書としてとりまとめて提出した。  当該の家具製造業者は受注先の多くが工務店等のB to Bであり、消費者目線の自社商品開発に繋がる取り組みであった。</p> ・食品製造業 現在、新商品開発に関する相談を受けており、年度内にコンサルティング、市場調査等を行なう予定。 (2) 障がい者・児の職場体験マッチング事業 障がい者・児の企業実習・職場体験・見学等を受け入れる意思のある企業を掲載するマップサイト「お仕事体験ナビ」( <a href="https://m-entaku.jp/">https://m-entaku.jp/</a> )を立ち上げた。松山市内のみならず、愛媛県全域の企業の登録を進め、障がい者・児の希望者と職場体験受け入れのマッチングを行う。 現在は受け入れ企業の登録を進めている段階であり、15社(うち、松山市内企業7社)が登録済み、このうち7社がサイト上で情報を公開している。 引き続き、行政、障がい者団体、他経済団体等とも連携しながら登録を進めるとともに、特別支援学校などの学校関係者や障がい者団体に周知を図り利用を促していく。
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>(1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのニーズヒアリング、コンサルティング  昨年度に続き、新型コロナの影響によりニーズヒアリングの調査が行いづらい環境であった。また、転居女性の新たなコミュニティ参加も停滞しており、社会への参画を促す何らかの取り組みは必要であると考え。  2020年からの3年間で事業を実施してきたが、転居女性が本事業を経て市内企業に就職するという事例には繋がらなかった。</p> <p>(2) 障がい者・児の職場体験マッチング事業  サイトは立ち上がったので、登録企業を増やししながら、より使いやすいよう改良を重ねていく。  ランニングコストとしてサーバー代とドメイン代が発生するので、その資金減をどうしていくか検討する。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>今年度で完了。  但し、「お仕事体験ナビ」のサイトについては、来年度以降も自主事業として運用していく。</p>

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 収支決算見込書**

**1. 収入の部**

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,300,000 円	1,300,000 円	0 円	
同友会一般 財政からの繰 越金（自主 財源）	362,000 円	133,600 円	228,400 円	
	円	円	0 円	
合 計	1,662,000 円	1,433,600 円	228,400 円	

**2. 支出の部**

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
委託費	800,000 円	800,000 円	0 円	転居女性ワークシェアリング事業委託費 ・コンサルティング等の諸経費（2社）
印刷製本費	30,000 円	円	30,000 円	
消耗品費	572,000 円	572,000 円	0 円	障がい者マッチングサイト構築費 ・サイト全体の構築費、システム構築費
通信費	100,000 円	61,600 円	38,400 円	障がい者マッチングサイト構築費 ・サーバー費、ドメイン費
使用料および賃借料	20,000 円	円	20,000 円	
人件費	120,000 円	円	120,000 円	
消耗品費	20,000 円	円	20,000 円	
合 計	1,662,000 円	1,433,600 円	228,400 円	

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 活動成果報告書**

活動名	DX等推進事業
部会名	松山DX勉強会
部会長・副部会長名	桑波田 健
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、愛媛デジタルデータソリューション協会
事業期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
事業費 (うち補助金)	1,000,000円
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>IT専門関連の企業で構成する愛媛デジタルデータソリューション協会を委託先として連携し、松山市内企業のDX化に繋がるリアル勉強会を開催した。当初の展望では、第2フェーズに当たる今年度は昨年度の勉強会でつくられたコミュニティをもとにマッチングを行なう計画だった。しかし、新型コロナにより昨年度は止むを得ずオンライン開催となり、土壤の醸成が十分ではなかったため、今年度も改めて、学習とネットワークづくりに取り組んだ。</p> <p>全6回のうち、前半3回を基礎編、後半3回を応用編として、各企業の実践事例を講演いただいた。</p> <p>【DX勉強会の開催内容】</p> <p>▶ 1～3回 基礎編</p> <p>1回目：「DXとは？ 必要性と進め方」DXの本質は、自社の"事業の定義"を書き換えること！  6月22日(水) 18:30 - 20:30 参加者32名  講師：越智正昭氏 気象ビジネス推進コンソーシアム 副座長/愛媛デジタルデータソリューション協会 会長</p> <p>2回目：「DXの第一歩目 社内のデジタル化」はじめよう、現場でできるデジタル化  7月26日(火) 18:30 - 20:30 参加者29名  講師：久保 正明氏 サイボウズ株式会社ローカルブランディング部 部長</p> <p>3回目：「DXの第一歩目 コミュニケーション改革」  8月24日(水) 18:30 - 20:30 参加者23名  講師：児玉寛将氏 株式会社システナ 松山イノベーションラボ ラボ長  講師：山口智忠氏 株式会社クロスコミュニケーションズ 代表取締役  講師：稲見益輔氏 中央会計株式会社 取締役 松山オフィス代表/マツヤマンスペース 代表</p> <p>▶ 4～6回名 応用編</p> <p>4回目：「業務効率DX」  9月29日(木) 18:30 - 20:30 参加者17名  講師：佐渡祐収氏 道後プリンスホテル株式会社 代表取締役社長  講師：川染佳代氏 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ四国 第一ビジネス事業部 営業企画部  デジタルビジネス推進室 室長 兼 公共営業部 部長</p> <p>5回目：「事業改革の事例・進め方」  10月26日(水) 18:30 - 20:30 参加者16名  講師：児玉寛将氏 株式会社システナ 松山イノベーションラボ ラボ長</p> <p>6回目：地域交通に学ぶ「地に足の着いた」DX～誰ひとり取り残さない～  11月29日(火) 18:30 - 20:30 参加者25名  講師：大石一浩氏 ネットヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>2年目であるが、DXの基礎に関する関心は未だに高く、来年度についてもニーズがあるものと想定される。一方で、コミュニティの土台作りまでは進んでいる。アンケートによる投げかけから、マッチングに関する相談が何件もあった。実際のマッチングにまでは至っていないが、来年度事業として、マッチングと成果発表の場を創出したい。</p> <p>※参照：【全体の展望】(2021年度当初)</p> <p>第1フェーズ(2021年度)：勉強会を通じてDXについて知る、自社を分析しプランを検討する。  第2フェーズ(2022年度)：勉強会で作られたコミュニティでサービス提供者とのマッチング  第3フェーズ(2023年度)：実際に実行に至った企業の事例を広め、地域のDX活用の機運をさらに醸成する。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>次年度も継続希望。</p>

**【中小企業振興円卓会議】**  
**令和4年度専門部会 収支決算見込書**

**1. 収入の部**

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,000,000 円	1,000,000 円	0 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	円	0 円	
合 計	1,000,000 円	1,000,000 円	0 円	

**2. 支出の部**

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
委託費	715,000 円	715,000 円	0 円	委託先：愛媛デジタルソリューション協会 人件費・チラシ制作費・印刷費・web申込 サイト制作費・講師謝金・交通費・会場 費・会議諸経費等
活動費	285,000 円	285,000 円	0 円	チラシ郵送費、資料印刷費、事務担当者 の人件費等
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
合 計	1,000,000 円	1,000,000 円	0 円	